

2019 年度活動報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(特活)関西 NGO 協議会

2014 年度より開催している、関西地域における若い世代の国際協力啓発活動『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth』は、多くの高校生の参加を得て、若い世代の国際協カイベントとして関西に定着してきた。事業規模が大きくなったため、積極的に他団体の協力も得ながら事業を行うように実施体制を変更する。また、今後の展開として、より NGO 関係者や10代から30代のユース世代の発想が反映しやすい事業となるよう、若い地域の団体や教育者を運営体制に取り入れる。

連携促進事業としては、中小を含む企業と関西地域の NGO の連携を目的とした『かんさい CS ネットワークフォーラム』を継続して開催し、一定の成果も見られたが、具体的な連携事業の創出にはつながらず見直しを行うことになった。一方、地域 NPO センターや中間支援組織、労働組合、企業などのマルチセクターでの連携や協働の動きは、SDGs 研修事業の開催や G20 大阪市民サミットでのシンポジウムなどを通じ活発であった。しかしながら、年度末には、COVID-19 拡大が事業にも影響を落とし、国際開発学会社会連携委員会との共催セミナー、KANSAI-SDGs 市民アジェンダの分科会の開催の中止が相次いだ。一部のセミナーでは、対応策として動画配信を試みた。

提言活動では、当会から委員を派遣している NGO-外務省定期協議会連携推進委員会が、昨年度に引きつづき全国の NGO にアンケート調査を実施、「日本の NGO 強化策」について外務省と継続して協議を行った。NGO-JICA 協議会では、昨年度に引き続き関西 NGO 協議会が NGO 側運営事務局を担うことになった。また、東京での開催は COVID-19 感染症拡大の影響により 1 回のみで開催となったが、関西地域で第 1 回関西 NGO-JICA 協議会を開催するに至った。さらに、SDGs 市民社会ネットワークに加盟したことから、実施指針改定のパブリックコメントの提出など、SDGs に関する提言活動にも積極的に参加した一年であった。他、ペシャワール会の中村医師訃報に際しては KNC から声明を発信した。

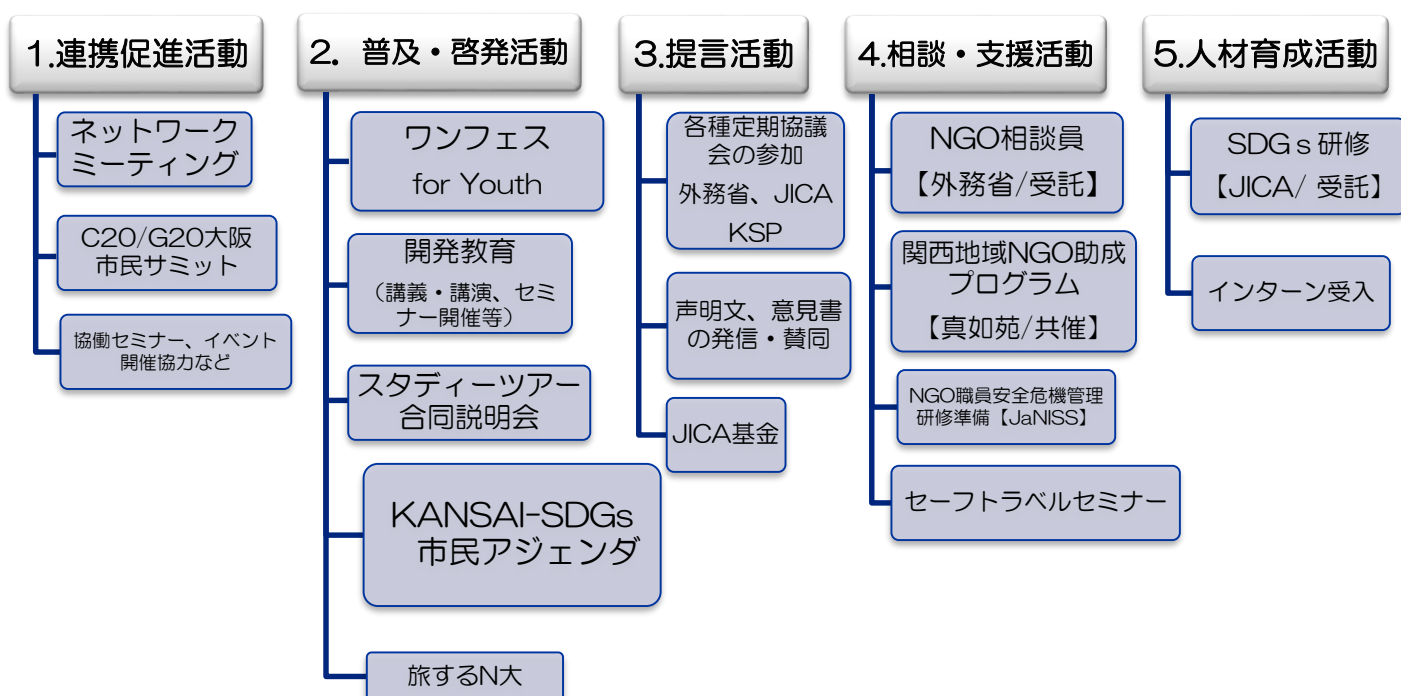
人材育成事業では、わかやま NPO センター、奈良 NPO センターと協働し、それぞれの地域で SDGs 研修を開催した。地域の NPO/NGO だけではなく、地方自治体、企業、組合関係者、報道機関(新聞社)など多様な層からの参加があった。その後、SDGs をキーワードとしていくつかの参加団体が連携する事例が報告された。また、外務省インターン・プログラムに採択され、大阪大学大学院の学生が普及啓発事業のインターンとして、10 カ月間 KANSAI-SDGs 市民アジェンダやワンフェスユースの活動に関わった。

組織強化においては、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 事業担当者として佐野光平氏をフルタイムスタッフとして 8 月に採用、試用期間を経て 2020 年 1 月から正式な職員となった。2019 年度はフルタイム職員 2 名、パートタイム職員 2 名、有給インターン 1 名、業務委託契約職員 2 名という体制であった。引き続き、事業・活動に優先順位をつけながら、労働環境を整え、事業の成果を着実にだすための仕組みづくりが急がれる。

受託事業に頼る組織構造から自主事業の拡大を意識し移行する過程で、少しずつ財源や事業寄付の増加につながってきている。また、数年前に問題となったキャッシュフローの課題が解決し、年間を通じて安定した財源を確保し活動が継続できている。今後は、事務局人員体制、労働環境を整備

し、組織基盤の強化を図ることで、関西地域のネットワーク NGO として、市民社会の発展と国際協力の推進に貢献することを目指す。

| 関西 NGO 協議会 5本の活動の柱 | |
|--------------------|----------------------|
| 1 | NGO 及び、他セクターとの連携促進活動 |
| 2 | 国際協力に関する知識の普及・啓発活動 |
| 3 | 国際協力を促進するための提言活動 |
| 4 | NGO 活動に関する相談・支援活動 |
| 5 | NGO 活動に関する人材育成活動 |



1. NGO 及び、他セクターとの連携促進活動

| | |
|----------|---|
| 事業名(継続) | 会員・加盟団体のためのネットワークミーティング |
| 報告 | 理事:三輪敦子/熱田典子 |
| 開催日と開催場所 | 2019年5月26日(日)13:00~14:15 @大阪聖パウロ教会1階 |
| テーマ | 『C20の報告・G20大阪市民サミットの役割』 |
| 参加者数 | 関西 NGO 協議会加盟団体・会員を中心に25名 |
| 内容 | 4月20日に開催されるC20の準備状況や期待される成果について共同議長を務める三輪代表から報告があった。また、2018年総会で立ち上がったKANSAI-SDGs市民アジェンダの各分科会の様子や今年度作成する中間報告書について熱田理事から報告があった。 |

| | |
|----------|--|
| 事業名(継続) | 開発教育協会 d-lab2019 参加報告(職員研修) |
| 担当 | 事務局:高橋、岩根 |
| 協働先 | 開発教育協会 d-lab |
| 開催日と開催場所 | 8月3日(土)、4日(日) @JICA 地球ひろば |
| 内容 | d-lab のプログラムへの参加を通して、市民社会組織がどのように幅広い層の市民を巻き込んだ活動ができるのか、その事例と手法について学んだ。より幅広い年代層への取組みとして小学生とともに SDGs の実践をするなど地域ごとに行なわれている活動の多様性についても知ること、SDGs 推進、開発教育事業の参考とした。 |

| | |
|----------|--|
| 事業名 | G20 大阪市民サミット分科会「地域社会・SDGs」 |
| 担当 | 理事:三輪、熱田、吉椿、田尻 監事:岩崎 事務局:岩根、高橋 |
| 協働先 | SDGs 市民社会ネットワーク、沖縄 NGO センター、岡山 NPO センター、さっぽろ自由学校「遊」、環境市民プラットフォームとやま |
| 協力者・登壇者 | 開発教育協会監事・関西 NGO 協議会監事 岩崎裕保 関西 NGO 協議会副代表理事・アジア協会アジア友の会副事務局長 熱田典子 SDGs 市民社会ネットワーク事務局長 新田英理子 沖縄 NGO センター代表理事 玉城直美 岡山 NPO センター代表理事 石原達也 さっぽろ自由学校「遊」事務局長 小泉雅弘 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)副事務局長 堺勇人 |
| 開催日と開催場所 | 2019年6月25日@PLP 会館 |
| 対象・参加者数 | SDGs 地域アジェンダの策定に関心を持つ市民 約90人 |
| 内容 | SDGs 地域アジェンダの策定に向けて、北海道の事例と関西・大阪の事例を比較検討するトークセッションの実施。これから、SDGs 地域アジェンダ策定を目指す地域と現在の動向、課題共有を通じたネットワーキングを行なった。 |

| | |
|----------|--|
| 業名 | C20 サミット 分科会「アジアの市民社会」報告 |
| 担当 | 理事:田尻、岡島 事務局:高橋、岩根 (※所属団体から三輪) |
| 開催日と開催場所 | 2019年4月21日から23日 @聖心グローバルプラザ、虎ノ門ヒルズ |
| 対象・参加者数 | SDGs やアジアの市民社会の動向に関心がある市民 |
| 内容 | KANSAI-SDGs 市民アジェンダの取り組みの報告を行った。これまで開催された6回の分科会の様子や分科会を通じた学びについての紹介と報告をした。発表後、フロアにいた他国の市民社会のメンバーから自分の地域でも SDGs 地域アジェンダに取り組みたいというフィードバックを受けた。 |

| | |
|----------|--|
| 事業名 | 世界人権都市フォーラムでの報告 |
| 開催日と開催場所 | 2019年9月30日から10月2日 @韓国、光州広域市 |
| 担当 | 監事:岩崎 事務局:岩根 |
| 内容 | 1.地域レベルで効果的・実質的人権保護システムを強化について 2.地域の人々の生活の向上のために、人権課題と実践の接合について 3.人権の保障に向けた重層的な世界レベルでの連帯構築について、という3点をテーマとした同フォーラムにおいて、KANSAI-SDGs 市民アジェンダの取り組みの報告を行った。これまでにKANSAI-SDGs 市民アジェンダの活動で開催された6回の分科会の様子や分科会を通じた学びについての紹介と報告を行った。また、アジア諸地域の市民社会のメンバーとSDGsの推進や人権課題の解決に向けた取り組みについて情報交換、ネットワーキングを行った。 |

| | |
|----------|--|
| 事業名(継続) | NGO 支援制度説明会 |
| 担当 | 理事:栗田、事務局:高橋、佐野 協力:NGO 相談員近畿ブロック NICCO・PHD 協会 |
| 協働先 | 外務省国際協力局民間援助連携室 |
| 開催日と開催場所 | 2020年2月1日(土) 16:20~17:20 @北区民センター/ワンフェス会場内 |
| 対象・参加者数 | 関西地域に拠点を置く国際協力NGO、ワンフェスに参加している全国のNGO20団体 |
| 協働先 | ・N連を含むNGO支援制度の紹介(外務省、JICA 関西) ・ODA制度を活用したNGOの組織基盤強化(認定NPO法人テラ・ルネッサンス) |

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 2019年度ワン・ワールド・フェスティバル アリーナ企画 シンポジウム「持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指して」 |
| 担当/コーディネーター | 事務局:高橋 |
| 協働先 | (特活)関西国際交流団体協議会 |
| 協力者・登壇者 | 小谷 美樹(積水ハウス株式会社 CSR部長) 津田 恵(大阪ガス株式会社 CSR・環境部長) 菱田 真(株式会社クボタ CSR企画部長) 相良 有希子(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 社会貢献担当課長) 久保倉 健((独)国際協力機構企画部イノベーション・SDGs推進室企画役) 田中 健造((公社)2025日本国際博覧会協会企画局戦略事業部長) 熱田 典子((公社)アジア協会アジア友の会 副事務局長) 藤田 裕之(元京都市副市長・KoKoKa京都市国際交流会館 館長) 中山 羊奈((公財)大阪YWCA 常務理事・総幹事) |
| 開催日と開催場所 | 2020年2月2日(日)11:30~17:00@カンテレ扇町スクエアなんでもアリーナ |
| 対象・参加者数 | 国際協力、提言活動に関心のある市民の方、NGO/NPO関係者150名 |
| 内容 | 2030年SDGsの達成に向けて取り組んでいる企業や非営利セクター、国際博覧会協会、JICAといったセクターから、それぞれの活動について紹介いただき、大阪・関西の市民とともに持続可能な社会の未来図を描く。 |

※COVID-19感染症拡大の影響により中止

| | |
|------------|----------------------------------|
| 事業名(継続) | SDGs 実施指針(改定版)とは何かーそのプロセスと内容上の特徴 |
| 主催/連携先 | 国際開発学会社会連携委員 岡島克樹(KNC 理事) |
| 担当 | 事務局:高橋 |
| 実施日時・実施場所 | 2020年3月15日(日)13:00~15:30 |
| 受益対象者および人数 | |

| | |
|------|---|
| 連携先 | 国際開発学会 社会連携委員会(セミナー主催者) 個人会員:岡島克樹 |
| 実施内容 | <p>2015年9月国連総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)は、これを紹介・解説する書籍も多く、また、政府・企業・市民団体による多様な取組があるものの、「新しいビジネスチャンス」「地方創生のきっかけ」といった肯定的評価の一方で、それが世界と日本が抱えるさまざまな課題の解決にどのくらいつながるのか、懐疑や諦観も広がっている。今回のセッションでは2019年末に改定された日本政府のSDGs実施指針についてとりあげ、その改定のプロセスや内容上の特徴とは何かを解説していただく。そのうえで、参加者とともに今後のSDGsに関するアクションについて考えたい。</p> |

2. 国際協力に関する知識の普及、啓発活動

| | | | | | | | | | | | |
|------------|---|----|----------------------------------|--------|---------------------|----|---|----|---|----|---|
| 事業名(継続) | ※外務省 NGO 事業補助金/積水ハウスマッチングプログラム/日蓮宗あんのん基金 他 ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019 | | | | | | | | | | |
| 担当 | 事務局:佐野・高橋、谷川、岩根 アルバイト:斎藤、米川 インターン:羅 | | | | | | | | | | |
| 審査員協力 | 岩崎裕保氏(開発教育協会)、林田雅至氏(大阪大学教員)、熱田典子氏(アジア協会アジア友の会)、山上正道氏(AMDA 社会開発機構)、佐藤正隆氏(リタワークス(株))、石崎雄一郎氏(ウータン・森と生活を考える会)、片田孫朝日氏(灘高校・教員)、安里佳世子氏(大阪府教育センター) | | | | | | | | | | |
| 実施日時 | 2019年12月15日(日) 10:00~16:00 | | | | | | | | | | |
| 実施場所 | 大阪 YMCA | | | | | | | | | | |
| 受益対象者および人数 | 参加者総数 6,000人(延べ)、参加高校 62校 (参加高校生・教員約1000人、関係者及びNGO約200人) | | | | | | | | | | |
| 共催・協力 | 【主催】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会(高校教員、加盟NGO職員で構成)、特定非営利活動法人関西NGO協議会 ※共同主催 【協力】大阪大学 CO デザインセンター、公益財団法人大阪YMCA、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会 & ボランティアリーダー、一般社団法人ソーシャルギルド | | | | | | | | | | |
| 実施内容 | <p>【概要】①「世界的な視野を持って、社会課題の解決に向け行動がとれる次世代の育成」、②「関西地域で、高校生を含めた国際協力分野に関わるセクターのネットワークの強化・連携の促進」を目的とし2014年度より実施、今年度は第6回。</p> <p>事務局は関西NGO協議会が担当。企画立案や当日ボランティア・コーディネーションを高校生が9月から長期の準備期間を経て担当している。事業の中心に高校生が深く、主体的に関わり、SDGs達成の重要なアクターとして国際協カイベントを実施する。</p> <p>昨年度は、高校生実行委員によりサブタイトルの変更を行った。以後、SDGs達成年度2030年に向けた事業コンセプトとする。過去の参加者がユースチームを組織し、協力団体となる事例もみられた。本事業が参加高校生に与える影響については教員からも高い評価を得ており、さらに、昨年は新聞に掲載されたことで事業の信頼性を高め、学校組織とのより良好な協力関係を築ける段階にある。</p> <p>6回の開催を経て、地域で様々なセクターが協力して次世代を育成する事業のモデルとして、東京・愛知・岡山等のNGOや教育機関・地域国際協力センター職員等から注目を受けている。今後も本分野での若い世代の育成や多様なセクターとの連携・協働が益々重要となる。引き続き、マルチセクターによりSDGs達成の重要なアクターであるユースのプレゼンスを向上を行うため、2020年度も継続して開催する。</p> <p>【2019年度 事業の概要】</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019』</td> </tr> <tr> <td>サブタイトル</td> <td>～私たちが描く持続可能な社会の未来図～</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、企業・NGOによるプログラム、高校生生活動報告会、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど</td> </tr> <tr> <td>後援</td> <td>外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、開発教育協会、朝日新聞社</td> </tr> <tr> <td>協賛</td> <td>リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンビールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、近畿労働金庫、泉南乳業株式会社、株式会社マイテック</td> </tr> </table> | 名称 | 『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019』 | サブタイトル | ～私たちが描く持続可能な社会の未来図～ | 内容 | ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、企業・NGOによるプログラム、高校生生活動報告会、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど | 後援 | 外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、開発教育協会、朝日新聞社 | 協賛 | リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンビールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、近畿労働金庫、泉南乳業株式会社、株式会社マイテック |
| 名称 | 『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2019』 | | | | | | | | | | |
| サブタイトル | ～私たちが描く持続可能な社会の未来図～ | | | | | | | | | | |
| 内容 | ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、企業・NGOによるプログラム、高校生生活動報告会、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど | | | | | | | | | | |
| 後援 | 外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、開発教育協会、朝日新聞社 | | | | | | | | | | |
| 協賛 | リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンビールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、近畿労働金庫、泉南乳業株式会社、株式会社マイテック | | | | | | | | | | |

| | | |
|--|------|---|
| | 助成金等 | 外務省 NGO 事業補助金事業、積水ハウスマッチングプログラム助成事業、日蓮宗あんのん基金助成事業、近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)寄付金 |
|--|------|---|

| | | | |
|------------|--|--|--|
| 事業名(継続) | 第 20 回・第 21 回スタディツアー合同説明会 | | |
| 担当 | 事務局:高橋 | | |
| 実施日時 | 夏期 第 20 回 6 月 15 日(土) / 秋期 第 21 回 11 月 30 日(土) | | |
| 実施場所 | 龍谷大学大阪梅田キャンパス | | |
| 受益対象者および人数 | スタディツアーやワークキャンプに関心のある学生、社会人、シニア層 | | |
| 共催・協力 | 【共催】株式会社マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター | | |
| 実施内容 | <p>NGO が開催するスタディツアーやワークキャンプに関心のある市民を対象に複数の NGO が合同でスタディツアーやワークキャンプの情報を提供した。</p> <p>龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター、(株)マイチケット、関西 NGO 協議会との共催事業であるが、知名度もあり、多くの来場者が見込める事業であるため、関西 NGO 協議会では、NGO 相談員ブース出展・広報業務にて関わることとする。</p> <p>・外務省委託 NGO 相談員出張サービス:PHD 協会、関西 NGO 協議会が国際協力やキャリア等の質問や相談対応に応じた</p> | | |

| | | | |
|---------|---|----------------------------|----------------------|
| 事業名(継続) | 講演、講座、講師紹介 | | |
| 担当 | 事務局:高橋、岩根 協力役員:熱田、吉椿、東川、武田、栗田、他加盟団体 | | |
| 実施内容 | 大学や他セクターからの依頼で、国際協力 NGO の活動や国際協力の潮流について、国外・国内の事例を併せ広く学生、社会人に周知する講座の講師、加盟団体への講師紹介を行った。 | | |
| | 講演・講義依頼(主なもの) | 講義名 | 受講者人数 |
| | 龍谷大学(後期、全 15 回) | 『国際 NGO 論』 ※NGO ユニット型講座 | 龍谷大学経済学部・法学部の学生 40 名 |

<龍谷大学ユニット>

| | 授業日 | 講師名 | テーマ | 所属団体 |
|---|-----------|----------------|------------------------------|----------------------|
| 1 | 9 月 25 日 | 高橋美和子 岩根あずさ | 授業ガイダンス 貿易の仕組みから考える SDGs | (特活)関西 NGO 協議会 |
| 2 | 10 月 2 日 | 高橋美和子 | 私たちの生活と SDGs について概観する | (特活)関西 NGO 協議会 |
| 3 | 10 月 9 日 | 熱田典子 | 水の問題と保健衛生～ネパールの事例から～ | (公社)アジア協会アジア友の会 |
| 4 | 10 月 16 日 | 奈良/鋤柄 | 途上国・日本国内での女性の自立を目指した支援 | (特活)アジア女性プロジェクト AWEP |
| 5 | 10 月 23 日 | 石崎雄一郎 | ボルネオの熱帯林破壊と私たちの消費生活とのつながり | ウータン・森と生活を考える会 |
| 6 | 10 月 30 日 | 東川貴子 | 中国と日本～市民による緑化活動を事例に | (特活)緑の地球ネットワーク |
| 7 | 11 月 6 日 | 栗田佳典 | 子ども兵の課題と日本の NGO の挑戦 | (特活)テラ・ルネッサンス |
| 8 | 11 月 13 日 | 役重善洋 | パレスチナ/イスラエル問題から「民族」と「宗教」を考える | パレスチナの平和を考える会 |

| | | | | |
|----|---------------|-------|----------------------------|-----------------------------------|
| 9 | 11月20日 | 中尾秀一 | 難民の現状と日本在住難民の課題 | (公財)アジア福祉教育財団 難民事業本部 |
| 10 | 11月27日 | 小吹岳志 | SDGs 目標12の達成を実現させる消費社会を考える | 持続可能な消費ネットワーク |
| 12 | 12月4日 | 松岡秀紀 | 企業のサプライチェーンから人権問題を考える | (一財)アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪) |
| 11 | 12月11日 | 佐藤友紀 | スマホから考える世界・わたし・SDGs | (特活)開発教育協会 |
| 13 | 12月18日 | 武田かおり | 意見を政策に反映させ、よりよい社会の実現を目指す方法 | (特活)AM ネット |
| 14 | 2020年 1月8日 | 吉椿/上野 | 災害支援の現場から考える市民社会 | (特活)CODE 海外災害援助市民センター |
| 15 | 1月15日 | 高橋美和子 | 世界の課題の解決にむけたアクション | (特活)関西 NGO 協議会 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | ※地球環境基金 |
| 事業名 | KANSAI-SDGs 市民アジェンダ策定の取り組み |
| 担当 | KANSAI-SDGs 市民アジェンダ事務局:岩崎、熱田、高橋、岩根 【分科会座長・副座長】新田・田尻、三輪・吉椿、栗田・東川 【運営補助】佐野、羅 |
| 実施内容 | <p>①「持続可能な開発目標:SDGs」の達成に向けて、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関といった、多様なアクターが参加するプラットフォームとして設立され、熱田副代表が運営委員に選出された。今後運営委員会に参加することで、市民社会の声をプラットフォームの活動に反映させる。</p> <p>②関西 NGO 協議会 30 周年記念レセプション(3月31日開催)にて、関西の市民がSDGs を考えプランを作るグループの設立が提案され、「国際」「国内」「教育」の三分科会の設立と、参加が呼びかけられた。</p> <p>■KANSAI-SDGs 市民アジェンダ策定の取り組みのための分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回分科会(4/5)『環境』発題者: 杵本育生 参加者:16名 ・第7回分科会(11/29)『食と農』発題者: 松平尚也 参加者:30名 ・第8回分科会(2/4)『気候変動』発題者: 伊与田昌慶 参加者:30名 ・第9回分科会(3/7)『平和』発題者: 栗田佳典、協力: 鈴木千花(新型肺炎感染拡大を懸念して開催見送り) ・第10回分科会(3/26)『SDGs・万博・夢洲』発題者: 武田かおり 参加者:20名(新型肺炎感染拡大を懸念して規模を縮小し勉強会形式で実施) <p>■KANSAI-SDGs 市民アジェンダの取り組みの報告</p> <p>C20 サミット(東京:4月21日-23日)、世界人権都市フォーラム(韓国光州:9月30日-10月2日)、G20 保健大臣会合・市民フォーラム(岡山:10月18日)</p> <p>これまでの分科会の様子やそこでの市民の学びについて他地域、他国の市民社会のメンバーに紹介した。</p> <p>■若者と作る市民アジェンダプロジェクト</p> <p>JYPS 主導のもと若者のSDGs アジェンダ策定の動きがあるため、JYPS との連携関係を深化させることに努めた。専用ウェブサイトでのJYPSの活動の紹介。</p> <p>■KANSAI-SDGs 市民アジェンダ中間報告冊子作成</p> <p>第1回から第6回までの分科会で出た参加者の声や分科会の発題内容についてまと</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>めた報告冊子を作成した。冊子はこれまでに SDGs や市民社会活動に関心を寄せてこなかった市民にも手にとってもらうことを想定して作成された。また、平易な日本語の使用や漢字の上に読み仮名を振るなど情報アクセスの保証にも務めた。</p> <p>■運営委員会の開催 KANSAI-SDGs 市民アジェンダ作りの方向性や中間報告冊子についての協議(合計 3 回、平均 6 団体が参加、延べ 14 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 11 回運営委員会(9/2) 「KANSAI-SDGs 市民アジェンダ中間報告冊子について」参加 8 名 ・第 12 回運営委員会(10/24) 「中間報告冊子および今後の分科会に関する打ち合わせ」参加委員 5 名 ・第 13 回運営委員会(11/13) 「中間報告冊子について」参加委員 7 名 |
|--|--|

| | |
|-------------|--|
| 事業名 (継続) | 関西 SDGs プラットフォーム運営委員会・総会の参加 (事務局:JICA 関西他/近畿経済産業局) |
| 担当 | 理事:熱田 (事務局:高橋) |
| 実施内容 | <p>第 6 回運営委員会(5 月 9 日) 場所:近畿経済産業局 大阪合同庁舎第 2 別館 3 階 会議室 B(MRB) 委任状出席</p> <p>第 7 回運営委員会(10 月 3 日) 場所: 関西広域連合 大会議室 (大阪国際会議場 11 階) 委任状出席</p> <p>第 8 回運営委員会(2 月 18 日) 場所:関西経済連合会会議室(中ノ島センタービル 29 階) 委任状出席</p> <p>定期総会 3 月に予定されていたが、COVID-19 感染症拡大の影響により中止</p> |

| | |
|-------------|---|
| 事業名 (継続) | 関西 NGO 大学「旅する N 大」 |
| 担当 | 関西 NGO 大学運営委員会 |
| 実施内容 | <p>関西 NGO 大学は、1987 年度に第 1 期の講座を開催し、その後毎年継続して講座を実施、2016 年度に第 30 期を開催した。30 期の開催をもって、一旦一区切りとし、定期的に運営委員でのミーティングは開催。また 30 周年を記念した報告書の作成が検討されている。</p> |

3. 国際協力を促進するための提言活動

| | |
|-------------|---|
| 事業名 (継続) | 提言専門委員会開催、各協議会の参加、JICA 基金の運営及び審査 |
| 担当 | 担当部署:理事会 担当理事: 熱田典子(副代表・NGO-外務省定期協議会連携推進委員会委員) 栗田佳典(理事・NGO-JICA 協議会コーディネーター)、 河合将生(提言専門委員会外部アドバイザー、JICA 基金運営委員) 事務局:高橋 |
| 事業目的と内容 | ※COVID-19 感染症拡大の影響により本年度は開催回数例年より減少 NGO と ODA 関連機関との対話の場への参加、コーディネーターを派遣、加盟団体にフィードバックする。 ■NGO-外務省定期協議会(ODA 政策協議会(年 2 回)、連携推進委員会(年 2 回)、全体会(年 1 回)) ■NGO-JICA 協議会@JICA 東京※COVID-19 の影響により年 1 回の開催 ■第 1 回関西 NGO-JICA 協議会 @JICA 関西 ■JICA 基金運営委員 JICA 基金運営方針の決定及び申請書の審査業務 |
| 実施場所 | 外務省、JICA 東京、JICA 関西 |
| 受益対象者および人数 | ・ODA に関心のある市民、NGO、ODA が実施されている国の市民 ・外務省及び JICA の支援スキームを活用している NGO、あるいは今後活用を予定している中小規模、新しい NGO |
| 実施内容 | (1)提言専門委員会の開催、JICA 基金の運営及び審査 2018 年度に引き続き、理事会が事務局のサポートのもとに直接提言活動を担う体制を取り、委員会は休会とした。 JICA 基金運営委員については、2018 年度に引き続き、河合将生氏(office musubime/個人準会員)に提言専門委員会外部アドバイザーの立場で、理事会・事務局と連携を取りながらその任に当たっていただいた。 (2)各協議会の参加 NGO-外務省定期協議会、NGO-JICA 協議会に委員・コーディネーターを派遣するとともに、以下の会議に出席して議事に加わり、その内容を加盟団体にフィードバックした。 ■NGO-外務省定期協議会 詳細・議事録:外務省 ODA(政府開発援助)ホームページ https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000969.html ■NGO-JICA 協議会 詳細・議事録:JICA NGO との定期会合ホームページ https://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/index.html ■JICA 基金運営委員会 詳細・運営委員会記録: https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/08.html |

| | |
|---------|---|
| 事業名(継続) | 市民社会からの提案:2030 年にむけて、市民、地域からはじまる社会変化・変革～各地域の SDGs の取り組みの事例と KANSAI-SDGs 市民アジェンダを通じて考える 市民社会(CSO)の可能性～ |
| 担当 | 理事:三輪、熱田、吉椿、田尻、岡島、栗田 事務局:高橋、岩根 |
| 対象・参加者数 | SDGs や市民社会活動に関心を寄せる市民 19 人、15 団体、匿名希望 1 人からの賛同を得た |
| 内容 | SDGs が策定を背景として国際課題、地域課題に関する議論が活発化する一方、市民の当事者意識やシティズンシップ意識が十分に醸成されていないことを問題意識とし、市民や市民社会がより活発に社会課題解決に向けて声を上げることの重要性に関する提案をした。本提案は G20 大阪市民サミット「地域社会・SDGs」分科会でも配布・紹介され、多くの市民・市民団体からの賛同を得た。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名(継続) | 文科省地域との協働による高等学校教育改革推進事業 奈良育英西高等学校グローバル型コンソーシアム運営委員 |
| 担当 | 理事:田尻、事務局補佐:高橋 |
| 内容 | グローバルな視点を持って地域を支えるリーダーを育成するため、コンソーシアム運営委員会(年 2 回)に参加し事業内容や学内の取り組みに対して提言を行う。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名(継続) | 大阪マラソン チャリティ専門部会運営委員 |
| 担当 | 高橋 |
| 内容 | 大阪チャリティマラソン支援先団体(NGO,NPO など)の審査、選考基準の策定等にかかわり、スポーツを通じたチャリティ文化の醸成に寄与する。(年 3 回) |

【声明の発信、パブリックコメント】

| | |
|-----|--|
| 事業名 | 声明の発信 ペシャワール会の中村医師訃報に際して (12 月 6 日) |
| 担当 | 理事会 |
| 内容 | アフガニスタンで長年、かんがい用水路の建設を通じた復興に携わってこられた医師の中村哲さんが、12 月4日、東部ナンガルハル州を車で移動中に銃撃され、同乗していた現地職員 5 名の方々と共に亡くなられた。関西 NGO 協議会役員一同は、市民社会・NGO の仲間として声明を発信した。 |

| | |
|-----|---|
| 事業名 | 持続可能な開発目標(SDGs)実施指針の骨子」へのパブリックコメントの送付 |
| 担当 | 監事:岩崎、理事:岡島他、事務局:高橋他 |
| 内容 | SDGs実施指針(改定版)の骨子に対するパブリックコメントの募集を受け、11 月 25 日、外務省国際協力局地球規模課題総括課 持続可能な開発目標(SDGs)実施指針担当官宛にパブリックコメントを提出した。 |

| | |
|-----|--|
| 事業名 | 市民社会スペース NGO アクションネットワーク賛同団体へ加盟(10 月 13 日) |
| 担当 | 理事会 |

4. NGO 活動に関する相談・支援活動

| | |
|------------|---|
| 事業名(継続) | 【受託】外務省 NGO 環境整備事業 国際協力に関する相談対応、出張サービス(ブース出展、講演など) の実施 |
| | 担当:高橋、佐野、松岡、岩根 |
| 実施日時 | 随時対応、スタディツアー合同説明会、ワンフェス for Youth 等でのブース出展、SDGs 研修での相談コーナーの設置、青年海外協力隊等募集説明会での相談コーナーの設置 |
| 実施場所 | 関西 NGO 協議会事務所、諸会合、講演・セミナー会場、イベントなど |
| 受益対象者および人数 | 国際協力に関心のある個人、団体、教育機関、企業など 相談数:504 件 出張サービス: 16 件 |
| 実施内容 | 当会に寄せられた国際協力、NGO 活動に関する相談、国際協力、SDGs に関する講演やイベントでのブース出展依頼に対応した。中間組織や業界団体とのネットワーク、NGO と企業、NGO と一般市民との連携や協力関係づくりも意識して取り組み、昨年度に続き、教育関係者や高校生の他、企業向け研修の講演依頼が増加傾向にある。 近畿ブロック相談員ミーティング(1 回)、NGO 相談員連絡会議、国際協力推進員×NGO 相談員会議(1 回)の開催、全国相談員連絡会議(2 回)に参加した。 |

| | |
|----------|---|
| 事業名(継続) | 民間・ODA 助成制度合同説明会 |
| 担当 | 事務局:高橋 |
| 開催日と開催場所 | 9 月 3 日(火) 15:30~17:30 @CANVAS 谷町 |
| 対象・参加者数 | 関西地域の国際協力・国際交流 NGO,NPO20 団体 |
| 登壇団体 | リタワークス株式会社、JICA 関西、関西・大阪 21 世紀協会万博記念基金、JICS(資料のみ) |
| 内容 | 関西 NGO 助成プログラムの紹介と合わせ、関西を拠点に助成プログラムを実施している助成団体の担当者から審査のポイントや申請書、事業計画書作成のコツなどを解説、終了後は交流会を開催。 |

| | | | |
|------------------|---|-------------------|-----------------------------|
| 事業名(継続) | 第 4 回 関西地域 NGO 助成プログラム | | |
| 担当 | 理事:中山麻衣子 事務局:高橋、佐久間、岩根 | | |
| 共催 | 宗教学法人 真如苑 | | |
| 最終審査 (公開プレゼン) | 日時:2019 年 10 月 27 日(土) 13:00~18:30 会場:大阪聖パウロ教会 1 階 | | |
| 助成期間 | 2019 年 12 月 1 日~2019 年 10 月 31 日 | | |
| 助成テーマ | ①組織基盤強化助成 ②プロジェクト実施助成 | | |
| 助成先 | プロジェクト実施 | にほんごサポートひまわり会 | 外国人とともに、災害時のことを地域で考えるプロジェクト |
| | プロジェクト実施 | (特活)ネパール野球ラリグラスの会 | ラリグラス野球大会 2020(仮称)開催事業 |

| | | | |
|-------------|--|-----------------------|------------------------------|
| | プロジェクト実施 | アートはみんなのもの | フィリピンにおける障がいを持つ人たちのためのさおり織講座 |
| | 組織基盤強化 | (特活)CODE 海外災害援助市民センター | CODE 未来基金のPR 刷新と団体新ウェブページの制作 |
| (総額 120 万円) | | | |
| 審査委員会 | 審査委員長:新田和宏(近畿大学教授) 審査委員:八尾 高伸(近畿ろうきん)、中山麻衣子(税理士)、 原島 照司・石井 康史(真如苑) | | |

| | |
|--------------|--|
| 事業名(継続) | 第 27 回ワン・ワールド・フェスティバル NGO 相談員ブース |
| 担当 | 事務局:松岡・高橋・岩根 |
| 実施日時 | 2020 年 2 月 1・2 日(土・日)10:00~17:00 |
| 実施場所 | カンテレ扇町スクエア 1 階(大阪市北区扇町) |
| 共同出展 | NGO 相談員ブース 主催:外務省 協力受託団体:(公社)日本国際民間協力会(NICCO)、(公財)PHD 協会、(特活)国際協力 NGO センター(JANIC)、(特活)アイキャン(ICAN)、(特活)開発教育協会(DEAR)、(特活)日本国際ボランティアセンター(JVC) |
| 受益対象者および参加人数 | NGO 相談員ブース:NGO 職員、学生、教員、高校生など |
| 実施内容 | 西日本最大の国際協力イベントであるワン・ワールド・フェスティバルにて、会場となったカンテレ扇町スクエア 1 階に「NGO 相談員ブース」を設営。全国の NGO 相談員でシフトを組み、開催時間を通して常時 2~3 人体制で、国際協力や ODA、NGO に関する質問・相談に対応した。また、ブース付近を通行する不特定多数の来場者や北区民センターで出展する NGO ブースには、NGO 相談員や外務省プログラムのチラシを配布し、相談員制度の広報、制度活用の普及に努めるとともに、プログラム参加を促した。 |

| | |
|--------------|---|
| 事業名(継続) | 第 28 回セーフ・トラベル・セミナー ※2020 年度は COVID-19 感染症拡大の影響により中止 |
| 担当 | 個人会員:榛木 |
| 実施日時 | 2020 年 4 月 23 日(木) 13:00~17:30 |
| 実施場所 | キャンパスプラザ京都 |
| 協働先 | (株)マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター |
| 受益対象者および参加人数 | 大学・高校及び NGO のスタディツアー、海外研修、フィールドワーク企画担当者 |
| 実施内容 | 第 1 部(基礎編)基礎から学ぶ危機管理 13:00~15:15 旅行業法、旅行保険、感染症の基礎知識を解説 第 2 部(事例研究編)事件事例から学ぶ対処方法 15:30~17:30 様々な事例から課題を整理し、解説 |

【講師】

宮川眞一 (公社)日本キリスト教海外医療協力会 元バングラデシュ派遣医師、
心療内科医

副島大典 AIG 損害保険株式会社

山田和生 株式会社マイチケット 旅行代理店

5. NGO 活動に関する人材育成事業

| | |
|---------|---|
| 事業名(継続) | 【受託事業】 JICA NGO 等提案型プログラム SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた国際 NGO と地域の NPO や他セクターの連携促進を担う人材/団体の育成事業 |
| 担当 | 事務局/高橋・佐久間・佐野 理事/岡島、監事/岩崎 運営委員/伊藤愛氏((公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所)、梅田純平氏((社福)大阪ボランティア協会)、岡島克樹氏(大阪大谷大学)、河合将生氏(office musubime)、外間孝次氏((一財)H ₂ O サンタ・阪急阪神百貨店) |
| 実施日時・内容 | <p>■和歌山研修:「SDGs の達成に向けて、私がここでできること」(和歌山) 8月30日(金)10:00~17:10(18:00~20:00:参加者交流会) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9階会議室 A(和歌山市手平 2-1-2)</p> <p>□運営協力 わかやまNPOセンター、近畿労働金庫</p> <p>□内容 講義「SDGs 概論」(講師:大阪大谷大学教授・岡島克樹) SDGs マッピングワークショップ (ファシリテーター:大阪ボランティア協会・梅田純平、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 伊藤愛、関西 NGO 協議会 高橋美和子) 和歌山における「SDGs ゴール 17:パートナーシップ」の事例について (わかやま NPO センター・志場久起)</p> <p>■奈良研修:「奈良から始まる・奈良で始める SDGs」(奈良) 2019年10月23日(水)10:30~17:00 奈良県文化会館 2階 集会室A・B(奈良県奈良市登大路町 6-2)</p> <p>□運営協力 SDGs 研修運営委員会、NPO 法人奈良 NPO センター、 奈良県消費生活センター、地球市民フォーラムなら、日本青年会議所近畿地区奈良ブロック協議会、(株)New Earth、</p> <p>□協力団体 近畿労働金庫、NPO 法人奈良国際協力サポーター、JICA 奈良デスク、 奈良 YMCA</p> <p>□内容 SDGs を楽しく学ぶ! 「SDGs プレワークショップ」 「どうしたらいいの?」いっしょに考えよう、奈良の暮らし」 丸山まりこ(地球市民フォーラムなら)/岩崎裕保(開発教育協会) 講演「SDGs とは何か ~誰一人取り残さない社会の実現のために~」 新田和宏(近畿大学) SDGs マッピングワークショップ 伊藤愛(セーブ・ザ・チルドレン)</p> <p>【研修運営委員会運営委員】 石井大輔(ファンディングのレシピ) 伊藤愛(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)、 梅田純平(社会福祉法人大阪ボランティア協会) 岡島克樹(大阪大谷大学人間社会学部) 河合将生(office musubime) 外間孝次(株式会社阪急阪神百貨店/一般財団法人 H₂O サンタ) 山本佳史(大和ハウス工業株式会社)</p> |
| 協働先 | JICA 関西 |

| | |
|---------|--|
| 事業名(継続) | インターン受け入れ |
| 担当 | 事務局:高橋、佐野 |
| インターン | 大阪大学大学院人間科学研究科中国人留学生の羅方舟さんを10月～1月まで受け入れた。主に、ワンフェスユース事業の高校生によるポスターセッション、国際協力助成プログラムコンペティション大会の事前準備および事前審査に関わる業務と当日の現場補助を担当した。 |

| | |
|---------|---|
| 事業名(継続) | 【受託事業】 外務省 NGO インターン・プログラム |
| 担当 | 育成担当事務局:高橋、インターン:岩根 |
| 協働先 | 青年海外協力協会、外務省民間援助連携室 |
| 事業内容 | 2019年6月より2020年3月までNGOインターン・プログラムに採択され、大阪大学大学院生の岩根あずささんが有給インターンとして10か月間活動を行った。主にKANSAI-SDGs 市民アジェンダ事業、広報を含む事務局整備事業、ワンフェスユース事業の補助を担当した。 |

6. 組織、事務局

| | | | |
|-----------------------------|--|-----------------------|--|
| 理事会 | 2019 年度理事会の開催 | | |
| 担当 | 事務局：高橋 | | |
| 理事 | <p>◆常任理事 代表理事 三輪 敦子 (特活)AM ネット 副代表理事 熱田典子 (公社)アジア協会アジア友の会 常任理事 吉椿雅道 (特活)CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◆理事 栗田 佳典 (特活)テラ・ルネッサンス 田尻 忠邦 (公財)大阪 YMCA 中山 羊奈 (公財)大阪YWCA 岡島 克樹 大阪大谷大学 教員 平岩 久里子 池坊短期大学 教員 中山 麻衣子 税理士 村尾 佳子 グロービス経営大学院経営研究科副研究科長/常務理事 ※高橋美和子 (特活)関西 NGO 協議会(職責)</p> | | |
| 監事 | 岩崎裕保 (特活)開発教育協会/DEAR 武田かおり(特活)AM ネット | | |
| 実施内容 | 【理事会】会場：大阪聖パウロ教会 4 階 事務所横研修室 | | |
| | 回数 | 日程 | |
| | 第 1 回 | 2019 年 5 月 26 日(日) | ①代表・副代表理事人 ②常任理事会規定の承認、役員業務分担 ③役員交通費及び謝金規定 |
| | 第 2 回 | 6 月 10 日(月) | ①代表・副代表理事、常任理事の選任 ②事務局人員体制 |
| | 第 3 回 | 8 月 7(水) | ①事業進捗状況の確認 ②事務局人員体制 |
| | 第 4 回 | 10 月 9 日(水) | ①ReBIRTH 見直し中長期計画 ②事務局人員体制 ③KANSAI-SDGs 市民理事会マターの承認 |
| | 第 5 回 | 2020 年 1 月 15 日(水) | ①ReBIRTH 見直し中長期計画 ②協議会を代表して行事に参加する際の内規 |
| | 第 6 回 | 3 月 23 日(月) ※メール稟議 | ①理事選挙行程・選挙管理委員会の決定 ②事業計画 ③COVID-19 感染症対応 |
| | 第 7 回 | 5 月 15 日(金) | ①2020 年度活動計画書・予算 ②2019 年度活動報告・決算 ③「私と地域と世界のファンド：みんなおなじ空の下」 |
| 【監査】会場：大阪聖パウロ教会 4 階 事務所横研修室 | | | |
| 2020 年 5 月 19 日 | 監事の岩崎・武田により、2019 年度会計・業務監査を実施。事務局高橋が出席 | | |

| | |
|------|---|
| 任理事会 | 2019 年度常任理事会の開催 |
| 常任理事 | 三輪敦子(代表理事)、熱田典子(副代表理事)、吉椿雅道(常任理事) 事務局:高橋 |
| 実施日 | 理事会前に開催 【会場】関西 NGO 協議会事務局、zoom など |

| 2019 年度事務局体制 | |
|--------------|---|
| 事務局スタッフ | 高橋美和子(事務局長/職責理事) 佐野光平(ワンフェスユース事業担当) 谷川詩織(広報・ワンフェスユース補佐) 佐久間量子(研修事業担当) 松岡秀紀(NGO 相談員担当) 岩根あずさ(KANSAI-SDGs 市民アジェンダ担当) |
| アルバイト | 田中十紀恵(前 KNC 職員) 齋藤桂(JOCS 職員) 米川愛(大阪教育大学 2 年) 林徹郎(大阪教育大学 2 年) 羅方舟(大阪大学大学院 1 年) |
| インターン | 羅方舟(大阪大学大学院 1 年) |
| ボランティア | 中村順子、和田みのり |

| 2019 年度ワンフェス for Youth 運営委員会 | |
|------------------------------|--|
| 運営委員長 監事 | 運営委員長 林田雅至(大阪大学教授) 副運営委員長 杉浦真理(立命館宇治中学校・高等学校教員) 栗田佳典((特活)テラ・ルネッサンス) 監事 田中めぐみ(京都女子中学校・高等学校教員) 坂西卓郎((公財)PHD 協会) |
| 運営委員 (所属組織) | ・大阪市立水都国際高等学校 ・大阪府教育センター ・大阪府立渋谷高等学校 ・大阪府立北摂つばさ高等学校 ・大阪府立松原高等学校 ・YMCA 学院高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・神戸龍谷中学校高等学校 ・灘中学校・高等学校 ・京都女子中学校・高等学校 ・立命館宇治中学校・高等学校 ・立命館守山中学校・高等学校 ・東アジア青少年歴史体験キャンプ ・大阪大学 CO デザインセンター ・(公社)アジア協会アジア友の会 ・(公財)大阪 YMCA |

| | |
|-----|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・(特活)開発教育協会 ・(特活)テラ・ルネッサンス ・(公財)PHD 協会 ・(特活)関西 NGO 協議会※事務局 |
| 事務局 | 佐野光平、谷川詩織、高橋美和子 |

| 2019 年度ワンフェス for Youth 高校生実行委員会 | |
|---------------------------------|--|
| 実行委員長 顧問 | <ul style="list-style-type: none"> ・メインフォーカル： 岩田秋桜(立命館宇治高校) ・プロジェクトリーダー： 地黄ありさ(神戸龍谷高校) 鈴木千花(関西学院千里国際高等部) ・顧問： 杉浦真理(立命館宇治高校教員) |
| 実行委員 11 名 (所属高校) | <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋学園高等学校 ・芦屋国際中等教育学校 ・開明高等学校 ・関西学院千里国際高等部 ・近畿大学付属豊岡高等学校 ・神戸龍谷高等学校 ・灘高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・立命館宇治高等学校 ・立命館守山高等学校 |
| 事務局 | 佐野光平、谷川詩織、高橋美和子 |

| 2019 年度関西地域 NGO 助成プログラム審査委員会 | |
|------------------------------|---|
| 審査委員 | <ul style="list-style-type: none"> 新田和宏(近畿大学教授/個人会員) 浦田和久(近畿ろうきん地域共生推進室) 中山麻衣子(税理士) 八本(真如苑社会交流部/賛助会員) |
| 理事 | 中山麻衣子 |
| 事務局 | 高橋美和子 |

| 2019 年度 SDGs 研修運営委員会 | |
|----------------------|---|
| 運営委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 石井大輔 ファンドレイジングのレシピ 伊藤愛 (公社)セーブ・ザ・チルドレン ・ジャパン大阪事務所 梅田純平 (社福)大阪ボランティア協会 岡島克樹 大阪大谷大学 河合将生 office musubime 外間孝次 (一財)H₂O サンタ・ (株)阪急阪神百貨店 山本佳史 大和ハウス工業株式会社 |
| 事務局 | 佐久間量子、高橋美和子 |